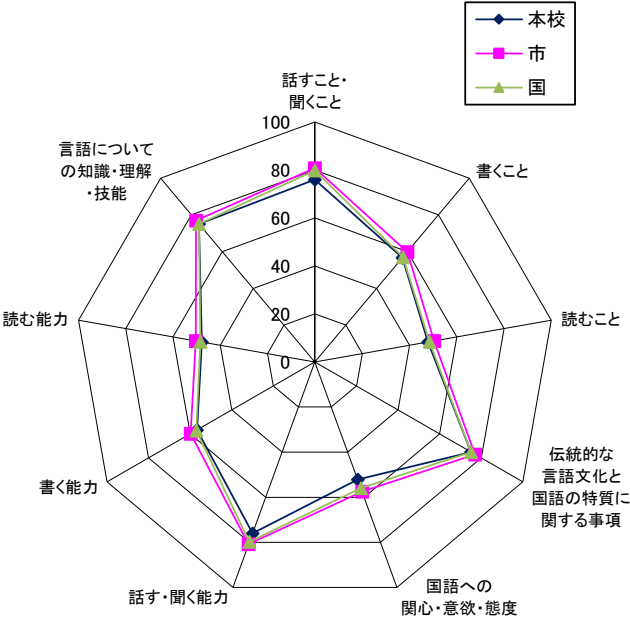


宇都宮市立陽南中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	76.0	80.8	79.8
	書くこと	56.7	59.8	57.1
	読むこと	47.9	50.4	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.1	77.0	75.1
観点	国語への関心・意欲・態度	52.1	57.5	56.0
	話す・聞く能力	76.0	80.8	79.8
	書く能力	56.7	59.8	57.1
	読む能力	47.9	50.4	48.5
	言語についての知識・理解・技能	75.1	77.0	75.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●平均正答率が、全国平均を3.8ポイント下回っている。	・目的や条件に合わせて効果的に話す力を養うため、スピーチや討論など多様な音声言語の学習を取り入れる。また、観点を明示した聞き取りメモを用意し、話の内容や表現の仕方を判断・評価する練習をさせる。 ・普段の授業の中でも、表現の仕方や敬語の使い方などのポイントを示し、場の状況や相手の様子に応じた効果的な話し方について意識させる。
書くこと	●平均正答率が、全国平均を0.4ポイント下回っている。 ○書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く問題では、全国平均を2.4ポイントを上回っている。	・自分の意見を短い文章にまとめる機会を多く作り、書くことに慣れさせる。また、書いた文章を推敲することで、最適な表現を精査し、書くことの基礎を身に付けさせる。 ・作文の授業では、個別にチェックさせたり、評価を工夫したりして、様々な課題に応じて、自分の考えやそれを支える根拠を明確に書くことができるよう指導していきたい。
読むこと	●平均正答率が、全国平均を0.6ポイント下回っている。 ○場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する問題では、全国平均を5.4ポイント上回っている。 ○登場人物の言動の意味を捉え、内容を理解する問題では、全国平均を0.4ポイント上回っている。	・文学的文章の内容理解については、登場人物の心情を的確に読み取りながら、その作品が伝えたいことを把握できるよう継続的に指導する。 ・説明的文章を読む際には、筆者の意見を的確に捉えられるよう、事実と考えを区別したり、論の展開の仕方や前後のつながりなどを意識したりして読む練習をさせていきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●平均正答率は、全国平均と同じである。 ○相手や場に応じて敬語を適切に使う問題では、全国平均を6.2ポイント上回っている。	・授業中に辞書の活用を意識して行い、漢字や語句についての知識を広げさせる。 ・漢字の読み書きに関しては、定期的に漢字テストを行い、基礎的な力を身に付けさせる。また、普段の生活においても、漢字を意識的に使うよう指導し、読みと書きのバランスの取れた力を育てるよう努める。